

対象者：R3年度利用者 26名 回収数17名 無回答は数値に含んでいないため回答数と一致しません

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見をふまえた対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	4	1		・少し狭いように感じるが、整理整頓されていて子どもにとって分かりやすい空間になっていると思う。 ・とても工夫されています。	(子どもたちがエリアの意味をわかって安心して過ごせるように環境を整えています)	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17			1		(玄関に職員配置を掲示しています。来所の際ご確認ください)	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境*1になっているか。また、障害の特性に応じ事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17				1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17				1	・母も居心地良く過ごせます。	(掃除・消毒をこまめにしています。又、子どもたちがそのエリアで何をすればいいかわかるようにしています)
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	16			2		(日々のご自宅の様子等をお伺いし、一緒に確認しながら作成できるように努めます)	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家庭支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	2		2		(面談の際に、丁寧に説明するよう努めます)	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18						
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	13			5		(変更や中止、活動の選択を入れ、固定化されないようプログラムを組むようにしています)	
	9 社会資源（公園・公民館等）を活用し、障害のない子どもと交流・活動する機会があるか	3	4	1	10	・コロナ禍でむずかしい状況。 ・今はコロナなので仕方ないかと・・・	(公園に行くことはありますが、コロナ禍の為障害のないお子さまとの活動は積極的に行っていません)	
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	1		1		(丁寧に説明できるよう努めます)	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	14	1		3		(丁寧に説明できるよう努めます)	
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	13	1		4		(母子で通所する特徴は、お子様の「できた」をその場で共有でき、困り感を一緒に考え、成長を共に見守れることと考えています。これもペアトレの一環と考えています)	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか	17	1			・職員の皆さん、子どもや保護者といつも真剣に向き合ってくれていることが分かる。 ・園の担任の先生とも情報を共有してくださって、とてもありがたいです。		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行なわれているか	14	2	1	1	・いつもていねいな対応をしてくださり、安心して利用できます。	(半年に一度面談の機会を設けておりますが、希望があれば随時面談させていただきます)	
	15 保護者サロンや母子通所を通して保護者同士の交流があるか	3	4	5	6	・コロナ禍でむずかしい状況。 ・今はコロナなので仕方ないかと・・・	(コロナ禍ということもあり、母子通の回数など制限させて頂きました。ご理解協力ありがとうございました。オンラインでの保護者向けサロンなどぜひご参加ください)	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15			2	・いつでも相談に乗って下さる。 ・突然のご相談もすぐ対応していただき感謝しております。忙しい中ありがとうございます。	(夜間、休日もぼけっとと携帯をスタッフがもっていますので、ご心配なことがあるときはご連絡ください)	

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1		1	(本人が分かる伝達方法を使っています(PECS,具体物、イラスト、写真、コミック会話など) (ご利用されている時や、送迎時に意思疎通や情報伝達をするように努めます。電話やメールでもお互いに連絡を取り合えたらと思いますので、気になることがあればいつでもご連絡ください)
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	1	1	5	(自己評価の結果は玄関のファイルに入れています。又、ホームページにも掲載していますのでご覧下さい)
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	16			1	(日々、言動などをスタッフ間で振り返り、引き続き注意します)
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7			10	(マニュアルを玄関に設置しましたのでご確認ください)
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	1		10	・知らないだけかもしれないので『わからない』にした (年2回、災害に備えた訓練を定期的に行っています。訓練日にご利用ではない方への情報発信に努めます)
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	17				・毎日行きたいと言っている。 ・一度も「いや」と言うことなく毎回楽しく通園しています。 ・毎週通うのを楽しみにしていて、帰宅したらうれしそうに話をしてくれます。 ・本人が安心して過ごしているのでも感謝しています。何より私自身いつも話を聞いていただけ今後ぼけっとならない環境に行くのが不安です。
	23	事業所の支援に満足しているか	16	1			・大満足です。いつもありがとうございます。 ・支援員の皆様優しく安心して子どもを預けることが出来ます。

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々に支援の中で、一定の目的をもって行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレントトレーニング」は保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。